

熱中症 対応フローチャート



熱中症を疑う症状

養護教諭・担任・管理職へ連絡

- 四肢や腹筋のけいれんと筋肉痛が起こる。
- 全身倦怠感、脱力感、めまい、吐き気、嘔吐、頭痛など起こる。
- 頻脈、顔面蒼白となる。
- 足がもつれる・ふらつく・転倒する・突然座り込む・立ち上がれない等

意識障害の有無

あり

救急隊を要請



なし

すぐに救急車を要請し、同時に応急手当と保護者連絡を行う。



涼しい場所への避難
涼しい場所に運び、衣服をゆるめて寝かせる。

水分摂取の有無

できる

できない

水分塩分を補給する。

- 0.1%から0.2%食塩水
あるいはスポーツドリンク
- 熱けいれんの場合は生理食塩水(0.9%)
などの濃い目の食塩水を補給する

症状改善の有無

症状改善

経過観察

改善しない

脱衣と冷却

救急車到着までの間、積極的に体を冷やす。
☆水をかけたり、濡れタオルを当てておく。

One Point!!

上記に加え、アイスノンを脇の下、足の付け根など大きい血管を冷やすのも効果的！

※できるだけ迅速に体温を下げることであれば救命率が上がる。

病院へ！

体を冷やしながらか設備や治療スタッフが整った集中治療のできる病院へ！

